

## 平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校  
学校長 足立 一穂

評 価 日	平成 28 年 2 月 9 日 (火)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況と提言</p> <p>○ 3 年生の進路状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業とのマッチングが大変だったと思う。100%に近い就職は十分評価できる。</li> <li>・学校から企業に対する提案事例などがたくさん集まると雇用も広がる。</li> <li>・離職を防ぐための取組、次はそこが問題になる。</li> <li>・グループホームや寮の利用など、自宅を離れるという選択肢も考えることで就労も広がる。</li> <li>・就労をめざすという学校の軸はぶれない方がよい。技術を身につけて就職するという方向がよい。</li> <li>・本人を交えての移行支援会議が設定されているのはとても良い。就職できなくてもその先に行けるような支援を。</li> </ul> <p>○ 教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朱書きしてきたカリキュラムがどうだったのか、今後の検証が大切。</li> <li>・保護者のアンケートには手厳しい意見もある。真摯に受け止めてほしい。</li> </ul> <p>○ 保護者の協力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日の出席率が低いのが気になる。家庭教育は大切。父親にも出てきてほしい。</li> <li>・懇談と参観をセットにする、父親の関わり方講座を開くなど工夫が必要ではないか。</li> </ul> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>○ 地域貢献について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校（教員）からのいろいろな提案もあり、活動が広がっている。地元からも受け入れられ、地域に琴の浦があることが自然になってきた。赤碕地区だけでなく、東伯地区へも広げていってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生が出て新たな課題が出てくる。課題を学校の指導にフィードバックできるように取り組みたい。</li> <li>・就職以外の希望が出る場合もあるが、学校の基本方針は変えない。個別にできる範囲で支援は考えたい。</li> <li>・授業力の向上など、次のステップの取組がより必要になってくると考えている。</li> </ul> <p>・地域に根ざした活動を続け、広げながら学校の取組や障がい者の就労について理解啓発を図りたい。</p>	